

新型コロナウイルス感染症流行時における、既存ワクチンの接種率向上等による感染症予防の重要性に関する声明

2021年3月11日

予防接種推進専門協議会

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の国内における感染状況は、現在までの検査陽性者数が340,000人近くとなり¹⁾、新規感染者数は、11月以降急速に増加し、過去最多の水準となっている。2021年1月には首都圏を中心に昨年4月以来の緊急事態宣言が発出されている。こうした状況から、国内の入院者数、重症者数、死亡者数は増加が続いており、予定された手術や救急の受入等の制限、また、診療科の全く異なる医師が新型コロナウイルスの診療をせざるを得なくなるような事例等、病床や人員の増加も簡単には見込めない中、新型コロナの診療と通常の医療との両立が困難になってきており、公衆衛生体制と医療提供体制に重大な影響が生じ始めている。

このような背景の中、公衆衛生体制への懸念点の一つとして麻疹が挙げられる。麻疹は、2020年11月12日、世界保健機関(WHO)と米国疾病予防管理センター(CDC)は2019年の麻疹による死亡者数が全世界で20万7500人に達し、過去最低だった2016年から50%近く増加したと発表している。²⁾ わが国では、2015年にWHO西太平洋地域(WPR)麻疹排除認証委員会より麻疹の排除状態にあるとの認定を受けているが、2019年は2009年以降で最多となる744例が報告された。³⁾ 現在COVID-19の流行に伴う、渡航制限等で2020年は48週で13人と報告数は極めて少ない状況であるが、MRワクチン1期の接種率は2018年度98.5%⁴⁾から2019年度95.4%⁵⁾と減少している。2019年度の減少はCOVID-19感染症による1~3月に小児科の受診を控える保護者が多かったためと考えられる⁶⁾。2020年度においても例年よりも低下している可能性が高く、自治体、医療機関等からの接種周知取り組みの強化等、対策が必要である。

同じく公衆衛生体制懸念として風疹が挙げられる。風疹については、厚生労働省は風疹対策の目標として、先天性風疹症候群(CRS)の発生をなくすとともに、2020年までに風疹の排除を達成する、と掲げている。2019年に厚生労働省は風疹の追加的政策として、抗体保有率が低い世代の男性は抗体検査を実施の上、抗体価が不十分であればMRワクチンを原則無料で接種できる、とした政策を打ち出している。しかし、2020年12月2日現在、抗体検査実施者割合の全国平均16.2%⁷⁾と低迷しており、こちらも麻疹同様、自治体、医療機関等からの働きかけの強化体制が必要である。

一方、医療供給体制への懸念として、高齢者の肺炎球菌感染症においては肺炎の進行が早く重症化による生命の危険を伴うことがある。肺炎の症状としては、発熱、痰、咳、胸痛、息苦しさが挙げられ、これらの症状はCOVID-19による感染症状と酷似しており、救急搬送を含め、医療機関受診時には医療関係者に負担がかかる状況となる恐れがある。このため、高齢者に対する肺炎球菌ワクチンの更なる接種率向上は急務であると考えられる。現在、定期接種として主に65歳以上の方には、肺炎球菌莢膜多糖体ワクチンが接種されているが、任意接種も含め接種を希望する方が増加し、供給調整が取られており、安定供給への不安が懸念される状況となっている⁸⁾。特に肺炎を含む肺炎球菌感染症の罹患リスクは、65歳以上の高齢者はもちろんのこと、年齢に関係なく慢性心疾患、肺疾患、肝疾患など基礎疾患を

有する方は非常に高くなるため、注意が必要となる。このような基礎疾患を有する方へのワクチン接種を鑑み当協議会からの適応拡大要望⁹⁾により、2020年5月に肺炎球菌結合型ワクチンの適応拡大が承認され、全年齢への肺炎球菌感染症の罹患リスクが高い患者への接種が可能な状況となっている。定期接種においては肺炎球菌莢膜多糖体ワクチンの接種を、任意接種においては肺炎球菌結合型ワクチンと肺炎球菌莢膜多糖体ワクチンを含め患者の状況に合わせ、接種することが必要である。

以上のように、COVID-19 流行下においても、ワクチンで予防できる疾患に対しては積極的にワクチン接種を行い、公衆衛生体制と医療提供体制の維持につなげる必要がある。定期接種ワクチンについては可能な限り予定どおりに予防接種を継続していくことが、任意接種ワクチンについても年齢・基礎疾患・感染リスクなどの状況から推奨されているものを積極的に接種していくことが、きわめて重要であると考えられる。また接種する側の医療機関としては、被接種者が時間的・空間的にソーシャルディスタンスが取れるような感染対策に配慮した接種体制を提供することも、COVID-19 流行下においてワクチン接種を推進していくためには必要である。

1) 厚生労働省：新型コロナウイルス感染症の現在の状況と厚生労働省の対応について（令和3年1月20日版）

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_16187.html

2) WHO：Worldwide measles deaths climb 50% from 2016 to 2019 claiming over 207 500 lives in 2019

<https://www.who.int/news/item/12-11-2020-worldwide-measles-deaths-climb-50-from-2016-to-2019-claiming-over-207-500-lives-in-2019#:~:text=Highlighted%20in%20a%20publication%20by,increases%20in%20all%20WHO%20regions.>

3) 国立感染症研究所：麻疹累積報告数の推移 2013～2020年（第1～48週）

<https://www.niid.go.jp/niid/images/idsc/disease/measles/2020pdf/meas20-48.pdf>

4) 厚生労働省：平成30年度麻疹風疹ワクチン接種者数調査結果について

<https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/000535720.pdf>

5) 厚生労働省：2019年度 第1期 麻疹風疹ワクチン接種率全国集計結果 2020年4月1日現在

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou21/dl/201014-03.pdf>

6) 日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会：新型コロナウイルス感染症流行時における小児への予防接種について 2020年10月27日

http://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=345

7) 国立感染症研究所：風疹に関する疫学情報：2020年12月2日現在

<https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/rubella/2020/rubella201202.pdf>

8) 厚生労働省健康局健康課：事務連絡 令和2年12月1日 肺炎球菌ワクチンの供給見通しについて（更新情報）

<https://www.mhlw.go.jp/content/000700140.pdf>

9) 予防接種推進専門協議会：沈降 13 価肺炎球菌結合型ワクチンの接種対象者拡大に関する要望書
[170508_request-for-pneumococcal-vaccine_to_MHLW.pdf \(umin.jp\)](#)